

プチパセージ

一緒に新しい子育てしませんか？

アドラー心理学にもとづく新しい子育て福島初開催です！

こんにちは、深田と申します。

みなさんは自分のお子さんにどんな大人になってほしいですか？

自分の力で、仲間と調和して、自立して生きていく。

そんな大人になってほしいと思いませんか？

「叱らない」「ほめない」

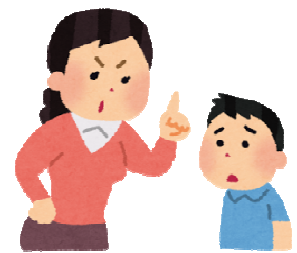
今までとは違う、子どもを勇気付ける子育てです。

つい子どもを叱ってしまう、子どものためを思って

言っているのに伝わらない、反抗される。どうした

らいいの？

そんなお父さん、お母さんプチパセージに来てみませんか？



今回はパセージのお試し版、「プチ・パセージ」です。

いったいパセージってなに？どんなもの？

興味を持たれた方、ぜひぜひいらして下さい。

そして一緒にこの福島でパセージを学んでいきましょう。5月上旬には本格的にパセージを開催していきます。

その前に、新しい子育ての風をちょっと感じてみませんか？

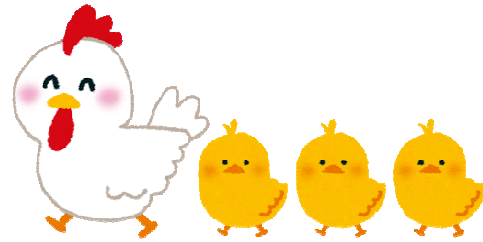
みんなで輪になって楽しくおしゃべりして悩みを共有し、

一緒に考えていきましょう。

お茶、お菓子をご用意します（^^）



日時：2月22日（日）
時間：午前9時45分～12時15分
場所：こむこむ2階会議室2
会費：1000円



リーダー：清野雅子（日本アドラー心理学会認定カウンセラー・コンサルタント）
サブリーダー：池野麻矢
お問い合わせ先：090-3602-3300 または kettobottle0104@gmail.com

お申し込み：メールもしくはお電話で

- (1) お名前
- (2) 郵便番号、ご住所
- (3) お電話番号

をお知らせください。

※ご記入いただいた個人情報を、「プチパセージ」開催以外の目的で利用することは一切ありません。

私は九州に住んでいたときにパセージに出会いました。もしあの時、パセージを学ばなかったら、いま自分がどんな子育てをし、どれだけ子どもを壊してしまったかわかりません。あのころ息子は「ねえ、ボクのこと好き？」としょっちゅう私に尋ねていました。自信を持って「大好きだよ！」と言えない私がそこにいました。



けれど、パセージを学んでいくうちに私の中で少しずつ変化がおきてきました。あのころ、子育てがつらくて思い通りにならなくて悩みばかりでしたが今はとても子育てが楽しく、余裕もあります。大きくなった息子ですが、堂々と「お母さんだーい好き！」と言ってくれます。私もためらわずギュッと抱きしめてあげられます。

Passage



『パッセージ』はアドラー心理学にもとづく新しい親子関係プログラムです。
怒って子育てしていたら、子どもが委縮して自信を失ってしまった、あるいはとても反抗的な子になってしまった。子どもの心を傷つけてしまうことが怖くて何も言えないでいたら、子どもが他の人と仲良く暮らすためのルールを守る大切さを学びそこねてしまった。従来の子育てでは何か間違っているような気がする。でも、どうしたらいいのかわからない。そんなお父さん、お母さん、子どもと関わるお仕事をされている方々にもおすすめです。

「褒めない」「叱らない」新しい子育ての方法を、一緒に学んでみませんか？

会場：こむこむ （JR 福島駅東口近く）

福島市早稲町1-1 TEL (024) - 524-3131

日時：2015年5月10日（1回目） 5月24日（2回目）

6月7日（3回目） 6月28日（4回目）

時間：午前9時45分～12時15分

（昼食・休憩 12時15分～13時15分）

午後13時15分～15時45分

定員：12名（先着順）

※7名以下の場合は中止になります。

参加費：初受講の方 26000円（受講料+テキスト代）

再受講の方 （受講料のみ）

（参加費は初日に会場にてお支払ください。）

リーダー：清野雅子さん（日本アドラー心理学会認定カウンセラー、家族コンサルタント）

サブリーダー：池野麻矢

内容：『パセージ』テキストに従って一日に2章ずつ、8章の内容をグループで学習します。
メンバーさんから提供していただく具体的な毎日の子育ての事例をもとにみんなで考えて
いきますので、とてもわかりやすいです。

1回目	第1章子育ての目標・第2章賞罰のない育児
2回目	第3章課題の分離・第4章共同の課題
3回目	第5章目標の一致・第6章体験を通じて学ぶ
4回目	第7章新しい家族・第8章積極的に援助する

※第1章のみ見学可です。(2～3名)

パセージは他県ではとても人気のプログラムで**キャンセル待ち**がでるほどです。少し高額ですが、8章終わるころには大きな宝物が得られます。やりっぱなしではなく、その後自助グループでフォローアップもしていきます。絶対損はさせません！

ぜひとも福島の人たちに受けてほしいのです！
ご参加お待ちしております。

